

学習指導案 略案様式（特別の教科 道徳を除く）

6年1組	指導者	林 美由紀	教科等	国語科
単元名等	主張と事例の関係をとらえ、自分の考えを伝え合おう			
目標	評価規準	← ※どちらかを選択し、 で囲ってください。		
知識及び技能	知識・技能	○原因と結果など情報と情報との関係について理解することができるようにする。【知（2）ア】 ○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができるようにする。【知（1）カ】		
思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現	◆ <u>事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成をとらえて要旨を把握することができるようにする。</u> 【思C（1）ア】 ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるようにする。【思C（1）オ】		
学びに向かう力、人間性等	主体的に学習に取り組む態度	○進んで事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとするようにする。		
単元の学習展開（全7時間）				
導入	<input type="checkbox"/> 学習の見通しをもつ。 <input type="checkbox"/> 「笑うから楽しい」を読み、主張と事例の関係に着目して、自分の考えを伝え合う。			
展開	<input type="checkbox"/> 「時計の時間と心の時間」を読み、文章全体の構成や筆者の考えを捉える。 <input type="checkbox"/> 文章構成や事例の挙げ方に着目して、事例と筆者の考えの結びつきや、複数の事例を挙げた意図を考える。 <input type="checkbox"/> 筆者の主張に対する自分の考えをまとめる。			
終末	<input type="checkbox"/> 自分の意見を伝え合い、友だちの意見を聞いて感じたことを話す。 <input type="checkbox"/> 学習を振り返る。			

本時 (5/全7時間)	ねらい	筆者が挙げた4つの事例について、 筆者の主張との関係に着目し、自分の経験や知識と関係づけることによって、 その意図を説明することができるようにする。 （下線部…単元の評価規準との関連【◆思考・判断・表現 ノート・タブレットの記述】）	
	学習過程	「めあて」 「筆者が4つの事例を挙げた意図を考えよう」 『課題』 『事例は全部必要な』 『まとめ』 『事例を複数挙げることで、「心の時間」に目を向け、時間と付き合っていくことが大切という筆者の主張に、説得力を持たせることができる。』 「振り返り」の視点 ・筆者の主張を理解するために、それぞれの事例について自分の経験や知識と関係づけることができたか。	
	児童に要する状況	【予想されるつまずき】 ・事例の内容を理解することが難しい。	【必要な支援・手立て】 ・グラフや図で示されているものは、本文と照応させながら丁寧に読み取らせる。 ・実験を実際に行い、事例の内容を捉えさせる。